

(公開用)

令和6年度 第2回 飯山市 子ども・子育て会議 会議録 (公開用)

開催日時 令和7年2月7日 (金) 午後1時30分～

場 所 飯山市役所 4階 全員協議会室

出席人数 委 員：12名 (4名欠席)
 事務局： 7名

(1) 第三期飯山市子ども・子育て支援事業計画（案）について

事務局：（説明）

会長： 只今「第三期飯山市子ども・子育て支援事業計画（案）」について説明がありました。質問意見のある方は挙手のうえ、お名前を述べてからお願いします。

委員： 43 ページに「飯山市の未来の保育検討会」について書かれていますが、私も検討会の委員の一人として、責任を感じながら答申に向けた議論を重ねてきました。市には、そこでの意見を大切に受け止め、反映していただきたいと願っています。

また、25 ページの「地域ぐるみの子育て」についてですが、市内4ヶ所の子育てひろばは主任児童委員を中心に、飯山市社会福祉協議会や、地区の社会福祉協議会、ボランティアなど、多くの方々の協力で支えられています。地域の皆さんとともに、小さなお子さんを持つお母さんたちに積極的に参加を呼びかけています。

コロナ禍では子どもたちの成長を見守る機会が減りましたが、昨年からは運動会や入園・卒園式などで子どもたちの成長を実感し、大きな励みももらっています。多くの悩みを抱える保護者の皆さんも、相談できる人が近くにいと知ることによって安心できると思います。感染症対策を考慮しつつ、こうした場を増やしていただけるよう、幼稚園・保育園の先生方をお願い申し上げます。

会長： 他に質問はよろしいですか。

委員： 2点お願いいたします。

まず、41 ページの乳幼児等通園支援事業についてですが、令和8年度からの実施とはいえ、来年度には準備を始めなければ間に合わないと考えています。この事業は、特に小規模園にとって保育室や教員の確保が大きな負担となるため、市としてどのような支援や計画をお持ちか、具体的に教えていただけると助かります。

次に、5歳児健診の重要性についてです。国でも推進されていると感じていますが、現在の相談員や支援員の巡回だけでは、保護者が相談するハードルが高いのが現状です。5歳児健診を全員が受ける仕組みにすれば、このハードルが下がり、小学校入学前に支援が必要な子どもを早期に把握し、適切な支援につなげられると考えます。ぜひ、この点についてもお検討をお願いいたします。

事務局： 41 ページの「こども誰でも通園制度」についてですが、これは国の事業で、今年度は長野市や須坂市など一部の自治体で取り組みが始まっています。

飯山市には、就労要件なしで一時的に保育園を利用できる「一時預かり」制度があり、すでに多くの利用者がいる状況です。ただ、国の方針に沿って令和8年度からの実施が求められており、委員がおっしゃるように、早めの準備が必要と考えています。

すべての園で実施するのは保育士や幼稚園教諭の確保が難しいため、現時点では規模の大きな「拠点園」での実施を想定しています。

委員： 幼稚園協会では、以前から「こども誰でも通園制度」に手を挙げる園を募集しており、長野市などでは積極的に参加し、施設拡充や遊具整備のための大きな補助金を受けている状況です。

飯山市では事情が異なるかもしれませんが、都市部では将来的に自分たちの園に入園する子どもたちへのサービスという考え方もあるのではと感じています。一時預かりとは少しニュアンスが異なる部分もあるため、市としても今後の方向性を改めて検討していただければと思います。

事務局： 2点目の5歳児健診についてですが、資料に記載のとおり、現在飯山市では実施されていません。5歳児健診は今年度から国の方針として導入されましたが、県内でも実施している自治体はまだ少ないのが現状です。

課題として、健診には医師の関与が不可欠であり、北信地域全体を見ても、十分な医療体制が整っているとは言い難い状況です。現在、この圏域での実施方法については、母子保健関連の部会などで検討が進んでいるものと考えております。

(公開用)

委員： これまでのところ、事前の保育園訪問などを通じて、気になるお子さんへの相談を行ってきました。そのため、5歳児健診の代替となり得るのかどうかも含め、さまざまな観点から検討し、今後の方向性を判断する必要があると考えています。

また、他の圏域の事例や情報がありましたら、お知らせいただくと助かります。

会長： 他に質問はよろしいですか。

委員： 現在、1歳3か月の娘がいます。1歳までの子どもがいる家庭を対象として保健センターで開催されているママサポートプログラムに参加しており、とても楽しみにしていました。しかし、1歳で終了してしまうのは少し物足りなく感じています。

3歳までは長いかもしれませんが、2歳まで継続してもらえると嬉しいです。あの場合は、母親と子どもが安心して集える大切な場所です。もちろん「きらら」や他の場所でも会うことはできますが、プログラムとして継続していただくと参加しやすく、気軽に話せる場にもなります。ぜひ、2歳までの継続をご検討いただければと思います。

事務局： 現在のプログラムは基本的に1年間を想定しており、1歳までのサポートとして実施されていると認識しています。1歳で区切られている理由としては、2歳以降は子育て支援センターなどの利用へ移行する段階と考えられているためです。保健センターのサポートを一区切りとし、次のステップとして地域の子育て支援を活用していくというのが、従来の方針となっています。

この点については、ご承知の上でのご意見かと思いますが、昨年実施したアンケートでも同様の声が寄せられていました。今後、お母さんとお子さんがつながれる場をどのように作っていくかについては、ママサポートプログラムに限らず引き続き検討していく必要があると考えています。

今後こうした機会を通じて、ご意見をお寄せいただければと思います。

会長： 他に質問はよろしいですか。

委員： 私も3人の子どもを育ててきました。現在、一番下の子が中学3年生になり、当時もこうした支援があったとは思いますが、実際に活用したかどうかは正直あまり記憶にありません。

ただ、10年前から続いている支援を振り返ると、支援の充実ぶりは感じる一方で、その先に何を狙っているのかが見えにくいと感じました。支援の意図は伝わるものの、最終的にどのような成果を期待しているのかが不明瞭です。

例えば、子どもたちが「飯山で育ってよかった」と思えるまちなのであれば、高校卒業後にこんなに居なくならないだろうと考えます。若い世代の人口減少に対して、これまでの施策がどのような結果を生んでいるのか、きちんと検証されているのかも気になるところです。

10年間の子育て施策の成果を見たときに、子どもの数や人口が減少し続けている現状を踏まえると、「これまでの取り組みが十分な効果を上げているのか」、また「その方向性が適切なのか」を再考する必要があるのではないのでしょうか。予算の面でも、子どもが減ることを前提とした計画になっているように見受けられ、「子どもを増やしたい」「人口を増やしたい」のであれば、そもそもの施策の立て方や予算の考え方を変えるべきではないかとも感じました。

この意見は、決して現在の計画を否定するものではありません。ただ、「どこを指しているのか」がもう少し明確であれば、支援の意義や方向性がよりはっきりするのではないかと思います。また、子育て支援に限らず、他の部署との連携を強化することで、より実効性のある施策が打ち出せるのではないかと感じました。

失礼な発言があったかもしれませんが、未来を見据えた支援のあり方について、引き続き議論が深まることを期待しています。

事務局： ありがとうございます。非常に重要な視点だと思いますが、委員のご質問に明確な答えを用意できていないのが現状です。

ただ、飯山市の施策は「飯山市第6次総合計画」を上位計画として進められており、各部署がこれに基づいてさまざまな政策を展開しています。ま

た、本日は子育てに関する会議ということで、教育委員会や民生部の部長・課長も参加しており、このように一定の連携は取れていると考えています。

しかしながら、市民の皆さんが計画や施策のつながりを実感しにくい点については、確かに課題があるかもしれません。その点については、私自身も今後の課題として認識し、留意したいと思います。

この計画において、具体的に飯山市の将来像をどのように示していくかについては、現時点では明確なお答えはできませんが、ご意見は非常に貴重なものとして受け止めています。

委員： 委員の意見をお聞きして、確かに人口減少の観点からはママサポートプログラムの効果が見えにくいという指摘もありますが、一方で、このプログラムには育児の不安を抱える家庭を支える役割があると思います。特に、核家族や移住により身近な支援が得にくいお母さんたちにとって、相談できる場があることは重要です。

また、長年の経験から、多くのお母さんたちがこの場を必要としていることもよく分かります。「ここがあってよかった」「毎週の参加が支えになった」という声があることは、この取り組みの意義を示していると考えます。

さらに、長年保育の現場で勤めていた経験で言わせていただくと、子どもは多くの大人と関わるのが非常に重要で、心や脳の発達が促されると言われています。2～3ヶ月の赤ちゃんでも、さまざまな大人の声を聞き、話しかけられることで成長していきます。お母さんが忙しいとき、私たちが抱っこをするだけでも、その子にとって大切な経験になります。

この場が、より多くのお母さんたちにとって安心できる場所になるよう、ぜひ多くの方に参加していただきたいと考えております。

会長： 他に質問はよろしいですか。

～意見無し～

(公開用)

会 長： 計画に反映できるところは事務局で検討をお願いします。
次に、今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いします。

(2) 今後のスケジュールについて

事 務 局： 第3期飯山市子ども・子育て支援事業計画に関するパブリックコメント募集について、パブリックコメントの募集期間は、2月17日から3月16日までの約1ヶ月間を予定しています。
寄せられた意見とそれに対する回答は、3月下旬ごろに公表する予定です。

また、パブリックコメントを踏まえて必要な修正を行い、最終的な計画案を4月上旬ごろに委員の皆様にお示しできればと考えています。通常であれば会議を開催してご説明するところですが、大きな修正がなければ資料を送付し、書面での表決をお願いする形を想定しています。

最終的な計画案の完成は、4月中旬を目標としています。
今後のスケジュールについての説明は以上となります。

会 長： 只今「第三期飯山市子ども・子育て支援事業計画（案）」について説明がありました。質問意見のある方は挙手のうえ、お名前を述べてからお願いします。

～意見無し～

会 長： ありがとうございました。
それでは進行を事務局にお返しします。